

## 目次

### 特集

地球に優しい環境は、家庭から・・・ 2  
 ほっとアングル・・・ 10  
 食生活だより / だんらん・・・ 12  
 ちょっとひとこと。・・・ 13  
 投票制度が新しくなりました・・・ 14  
 情報かわら版・・・ 16  
 相談 / 休日水道当番など・・・ 22  
 こよみなど・・・ 23



## 辻の風景 参

### 森山の道しるべ (森山町)

旧太田宿を起点とする飛騨街道は、上古井の森山町で二つに分かれ、一つは川辺・七宗を経て、飛騨高山を目指します。もう一つの道は、かつて木造のつり橋であった青柳橋を渡り、兼山・八百津へと続きました。

明治25年、この分かれ道に、名古屋市塩町の伊藤萬蔵氏が道しるべを建てました。「右かね山 八百津 木曾路 左川辺 麻川 飛騨高山道」と書かれ、行き交う人々の道しるべとなりました。

その後、道しるべは傷み、別の場所で保管されていましたが、地元の人々の熱意により、昨年この街道に建て直されました。

## ヒューマン倶楽部 75



▲みのかも文化の森常設展示室にて

川合康司さんは、日本地質学会やアメリカ古脊椎(せきつゐ)動物学会に所属しており、理科教育や古生物にかかわる研究を進めています。

現在、東白川中学校長であり、理科の先生でもある川合さんに、古生物学や地質学の研究を続けている理由を伺うと、「これらの研究は、あくまで子どもたちの理科教育のための一環です」と話していました。今後も、ほ乳類化石の宝庫といわれる可茂地域を中心に、研究を続けていくそうです。

みのかも文化の森の常設展示室で展示している、国内最古のゾウ「ゴンフォテリウム」の牙の化石(※注)は、御嵩町で個人が所蔵しているのを川合さんが発見したものです。

ほかにも、貝の化石や日本で最初の発見となったビーバーの歯の化石など、川合さんが所有する貴重な資料は、同展示室で見ることができます。(※注) 展示しているのはレプリカです。

### 人口と世帯数 (平成16年5月1日現在)

	人口・世帯	昨年同月比	先月比
男性	25,866	+	348 + 80
女性	26,337	+	369 + 50
総数	52,203	+	717 + 130
世帯数	18,216	+	488 + 83

■編集・発行 美濃加茂市企画部市民まちづくり推進室広報コミュニティ係  
 〒505-8606 美濃加茂市太田町3431-1  
 TEL:0574-25-2111 FAX:0574-28-1290  
 URL:http://www.city.minokamo.gifu.jp  
 E-Mail:kouhou@city.minokamo.lg.jp

